

日本の鬼の交流博物館 平成19年度 春の特別展

市制施行70周年記念
-21世紀にはばたく北近畿の都づくりにステップ・アップ-

大江山の休日

—京人形の鬼さん— なかやましゅんこ 仲山俊子 人形展

平成19年4月29日(日)～5月13日(日) *5月1日(火)、7日(月)は休館

日本の鬼の交流博物館 特別展示室 (Tel & Fax 0773-56-1996)



仲山俊子さんは、京人形司十三世めんやしゅうぞう面屋庄三氏（人間国宝）より襲名された京人形司十四世めんやしゅうほ面屋庄甫氏が主宰される天児（あまがつ）会に所属され、長年京人形を製作しています。

天児会では「人形を通じて心を育む」をモットーにして、伝統ある京人形の継承、発展にあたり、今年3月には京都文化博物館で第50回記念展を開催されました。

京人形と鬼、異色のとりあわせですが、仲山さんは数年前、幼いお孫さんのお守りをしているとき、おしめをかえているうちにスヤスヤと寝てしまったあどけない無垢な表情にうたれ、そんな思いを鬼に託してみたとのことです。以来、「大江山の休日シリーズ」と題して、優美な華麗な鬼さんを連作されました。このたび、そんな鬼さんたちが10体、大江山に勢ぞろいします。

また、この機会に仲山さんの代表作である大乗寺（兵庫県香美町）の円山応挙の襖絵をテーマとした「郭子儀図（かくしぎず）襖絵人形」4体も展示します。

日本の鬼の交流博物館
福知山市大江町仏性寺909
Tel・Fax 0773-56-1996

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日

入館料

区分	個人	15人以上の団体
一般	310円	一人につき250円
高校生	210円	一人につき160円
小・中学生	150円	一人につき120円